

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員みんなで常に話し合うよう心掛けている	職員みんなでの話し合いが不十分の場合がある時はSNS等を活用しながら行えるよう工夫する
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	職員みんなで常に話し合い、児童や保護者に要望や意見等を聞くようにしている	保護者に関しては忙しくてなかなかコミュニケーションが取れないことがあるので、SNSを活用しながら助言を求め、支援を工夫する
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	児童の好きな活動は年齢によって変わるため、それぞれの活動の内容によって職員をわけて支援を行っている	外出先では集団活動が主ですが、状況によって個別でも活動できる内容を考えてみる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援前には送迎時間や送迎方法、最近の様子や保護者からの報告等を職員で共有している	日頃の役割分担はしっかり話し合っ決めて決めるようにする
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	振り返りや反省点、翌日の利用状況や送迎時間等の情報を共有している	話し合いで時間が足りない時はSNS等で伝えるよう工夫する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	記録は毎回行うようにし、記録は職員みんなで話し合いながら行っている	記録の記入漏れがないよう、記入後は再度確認するよう心掛ける
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	計画書は児童それぞれ支援期間を決めて、支援期間を基準に見直しを行っている	見直しは職員みんなの意見を取り入れるようにする
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	なるべく理解できる職員を参加させるようにしている	理解した者が何らかの理由で参加できない時は、事前に情報を集め、何が今後の課題か？話をまとめて参加するようにする
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	幼稚園関係者との連携は担当者会議等を活用しながら行っている	医療関係の連携が必要な児童はいないが、今後必要な児童が利用すれば積極的に行いたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	そういった支援はまだないが、今後あれば情報共有・相互理解を図っていく	必要な情報は個人情報等を考慮したうえで共有したい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	担当者会議等で情報共有・相互理解を行うようにしている	必要な情報は個人情報等を考慮したうえで共有したい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4	地域での研修情報があれば共有している	機会はあまり設けていないのが現状です。研修は興味があるので情報があれば機会を作っていくたい
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	交流はできていない	地域のイベントや祭り等に今後参加して、交流できる機会を増やしていきたい	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	定期的な担当者会議や送迎時、電話やSNS等で情報を共有している	保護者それぞれの伝えやすい方法を職員でまとめておく	